

地理情報システム

MasterMap ご活用事例 その2

『カーナビゲーション 連携機能』

ご紹介資料

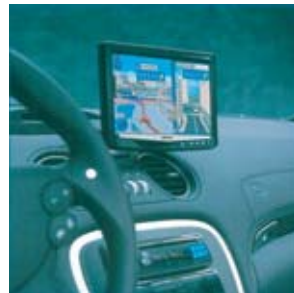
2004年3月

近年の個人用のカーナビゲーションの進化には著しいものがあります。一方、業務での利用は、まだまだ進んでいません。弊社では、マスターマップにて管理している最新の情報（顧客、ガバナ、バルブ等）を緯度経度付台帳データで、カーナビゲーションへ受渡すことにより、顧客番号などで簡単に、ナビゲーションが行えるシステムを開発いたしました。これによりカーナビを利用した様々な活用が期待できます。また、顧客の住所データのみをお持ちの方にも、緯度経度付加受託サービスを行っておりますので、同様にカーナビゲーションへの展開を図れます。

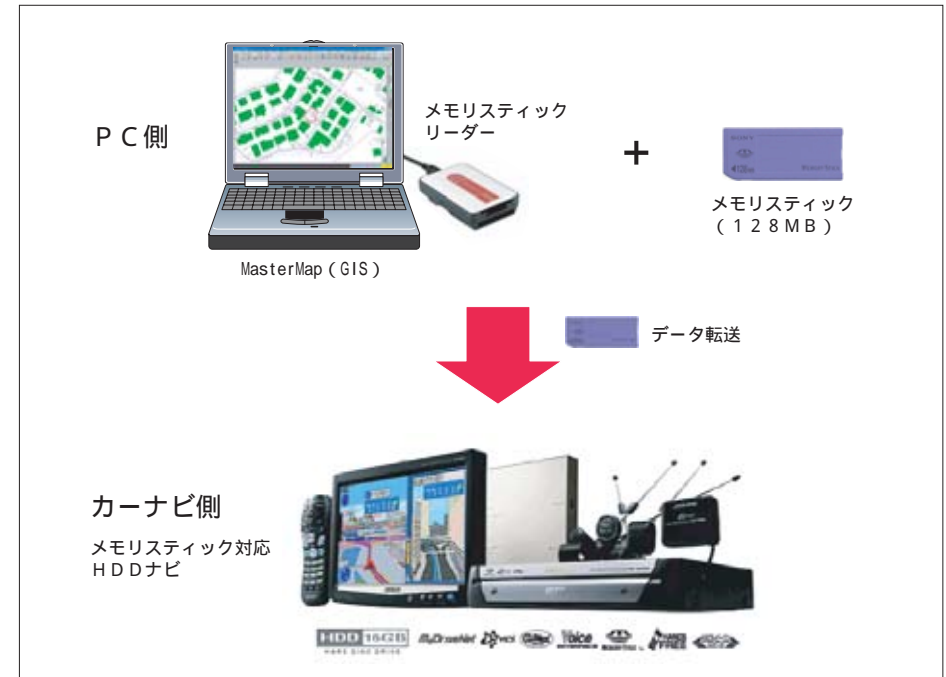
【システムの特長】

マスターマップ（GIS）のポイントデータをカーナビで活用できます。山間地など地図情報外でも、ナビゲーションで接近することができます。メモリスティックを利用したデータのやりとりを行いますので、山間部など通信状況の悪いところでも、データ呼び出し可能。顧客番号や施設番号（10キー）により検索が可能ですので、事故、災害、緊急時に即座にナビゲーションを開始できます。夜間、積雪時など目視困難な場合でも、現場へナビゲーション可能です。現場経験の浅い担当員の業務をサポートし、効率をアップをヘルプします。

VICSの活用で、渋滞情報、道路規制情報を入手し、それを回避することで、最適最短ルートでの移動が可能です。お客様をお待たせしません。明日の営業訪問データをメモリスティックに蓄積すれば、一日の訪問が非常にスムーズになります。訪問時に時間が余った場合に、目的地近辺の訪問を追加することができます、時間を有効に使うことができます。



【機器構成】



【データ連携内容】

カーナビで扱われる情報は、「顧客データ」「施設データ」のポイントデータです。

〔例〕

LP顧客データ

需要家番号、お客様名、電話番号、〒、住所、代表緯度、代表経度

都市ガス顧客データ

需要家番号、お客様名、電話番号、〒、住所、代表緯度、代表経度
バルブ、ガバナ、電気防食装置、水取器、その他人孔など

台帳管理番号、名称、代表緯度、代表経度

顧客住所データ

緯度経度付加受託サービスにより、カーナビ連携が可能です。

上記のうち、代表緯度、代表経度は必須項目。
表示用項目として1項目、検索用項目として1項目を指定できます。

【データ連携手順】



マスターマップもしくは
他のGISからデータを書き出し

- ・都市ガスユーザーデータ
- ・LPガスユーザーデータ
- ・施設データ
- ・その他のデータ

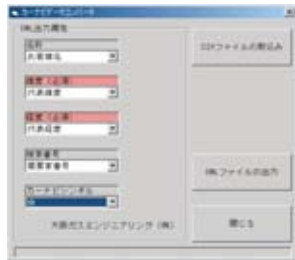


CSVデータには、緯度経度情報が必要となります。
緯度経度情報が無い場合は、住所データから緯度経度を起こす
「緯度経度付加受託サービス」も行っております。
住所データからの緯度経度付加については、
オプションソフトウェアの導入で行うことも可能です



カーナビで目的地を設定し、出発です。

カーナビにポイントが表示され、
検索、及び目的地設定が可能となり、
あとはカーナビのフル機能が活用できます。



データコンバータを起動し、
CSVを読み込みます。
その後、必要な項目を選択します。

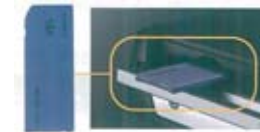
緯度経度（DMS）は必須項目です。



メモリスティック（128MB）で持ち運び



カーナビ仕様による制限
1ファイルに200件
1メモリスティックに最大100ファイル
つまり、128MBのメモリスティック1枚に
最大200×100=20,000件の
データが格納可能です。



メモリスティックをカーナビへセット

メモリスティックは128MB以下に対応しています。
メモリスティックPRO、メモリスティックDuo、
メモリスティックPRO Duo、
マジックゲートメモリスティックには
対応しておりませんので、ご注意ください。



【住所録データのみをお持ちのお客様】

顧客情報データのみをお持ちの場合で、カーナビゲーションへのデータ連携を行う場合には、『住所データ緯度経度付加サービス』が便利です。お客様から住所データをお預かりし、弊社にて住所番地から、緯度経度を付加した後、データをご返却いたしますので、その後は、通常通り、CSVデータとして、データコンバータからカーナビへデータ連携させることが可能となります。

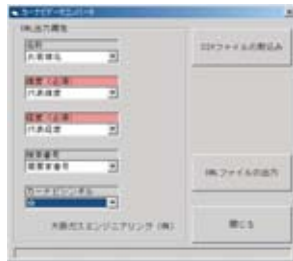


- 住所データ
- ・都市ガスユーザーデータ
 - ・LPガスユーザーデータ
 - ・施設データ
 - ・その他のデータ



CSV

CSVデータには、緯度経度情報が必要となります。
緯度経度情報が無い場合は、住所データから緯度経度を起こす「緯度経度付加受託サービス」も行ってあります。
住所データからの緯度経度付加については、オプションソフトウェアの導入で行うことも可能です



データコンバータを起動し、
CSVを読み込みます。
その後、必要な項目を選択します。

緯度経度（DMS）は必須項目です。



XML

メモリスティック（128MB）で持ち運び



カーナビ仕様による制限
1ファイルに200件
1メモリスティックに最大1000ファイル
つまり、128MBのメモリスティック1枚に
最大200×100=20,000件の
データが格納可能です。



カーナビで目的地を設定し、出発です。

カーナビにポイントが表示され、
検索、及び目的地設定が可能となり、
あとはカーナビのフル機能が活用できます。



メモリスティックをカーナビへセット

メモリスティックは128MB以下に対応しています。
メモリスティックPRO、メモリスティックDuo、
メモリスティックPRO Duo、
マジックゲートメモリスティックには
対応しておりませんので、ご注意ください。

